



ペンギンのヒナ続々と誕生

か(・▽・)イ!!が大渋滞!

昨年11月から12月の間にジェンツーペンギン4羽、アデリーペンギン1羽、ヒゲペンギン3羽の合計8羽のヒナが誕生し、ペンギン水槽に仲間入りした。

アデリーは2シーズンぶり!



アデリーペンギンのヒナ (生後1日齢)



ヒゲペンギンのヒナ (生後1日齢)

ヒナは始め綿羽と呼ばれる羽毛を身にまとって親鳥とは異なる出で立ち。綿羽には防水機能が無いため泳ぐことはできない。成長するにつれて徐々に親鳥と同じ羽毛に生え変わっていく。

くちばしの先端にある卵歯という突起で卵の殻を割ってふ化する。卵歯は生まれたばかりのヒナ特有のもので成長とともに消失する。



ジェンツーペンギンのヒナ (生後2日齢)

性別は外見から完璧に見極めるのは難しい。そのため、大きくなってから羽毛や血液を採取し、DNA検査に出して雌雄の判別をする。

“ただ繁殖させればいい”ではダメ!? ここが大事! 繁殖についてのプチ情報

毎年のように可愛らしいヒナが誕生しているが、実はやみくもに繁殖を進めているわけではない。各種ペンギンは血統登録されており、飼育係は遺伝的多様性が維持されるようにペアリングを工夫しながら繁殖計画を立てている。血統管理は日本全国の動物園・水族館と連携している時には繁殖目的に個体を移動させたりするブリーディングローンも行っている。

担当飼育係の声

この可愛さはあの名古屋駅で超有名なスイーツ「び●りん」に匹敵するのでは! コラボメニュー「アデりん」とか「ヒゲりん」なんていかがですか!? 笑



名古屋港水族館の最新情報は、公式HP (<https://nagoyaaqua.jp>) をチェック!